

◆新技術定着試験

金武漁協におけるハマフエフキ養殖試験

本部駐在

平安名 盛正

1 目的

平成18年度から始まった、魚類養殖試験であるが、スギについては平成19年7月に類結節症の発症で大量のスギが斃死し、生残数10数匹という状況では試験養殖自体を続けることができなかった。このため、スギの試験養殖を断念し、ハマフエフキだけを用いて、価格の違う餌料が魚の成長に影響するのか比較試験を実施した。

2 材料及び方法

平成19年11月8日にハマフエフキの全数計数を実施した。総数で2,815尾が残存し、当初、5,000尾を導入、歩留まり56%であった。そこで、1生け簀を1,500尾（平均体長206.95mm 平均体重179.58g）もう1生け簀を1,315尾（平均体長198.81mm 平均体重167.67g）に分けた。11月13日に2生け簀を各々沖縄電力沖縄プラント工業金武事務所沖合に移設し、1,315尾収容生け簀をサンプルA餌料を使用、1,500尾収容生け簀をサンプルB餌料を使用し試験を開始した。

3 経過及び結果

平成20年2月19日2回目の測定実施。1,315尾収容生け簀 平均体長228.64mm 体重262.9g。1,500尾収容生け簀平均体長225.84mm 体重286.6g。2生け簀の成長においては体長・体重ともに成長差はみられずほぼ同じ。

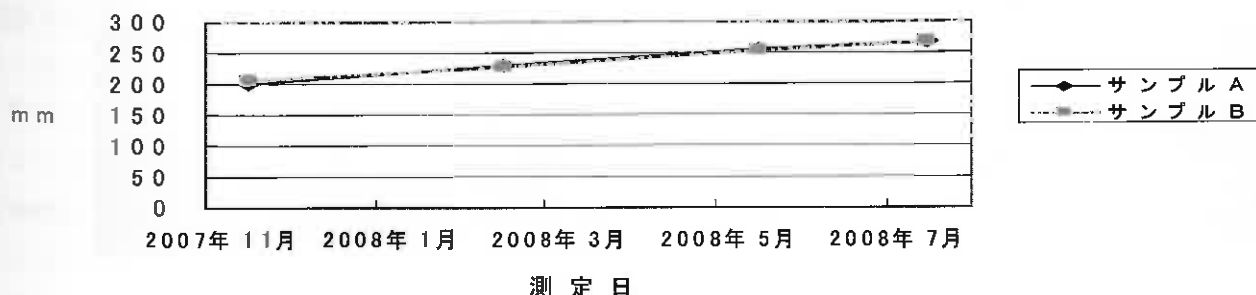
平成20年5月8日（木）に3回目の測定

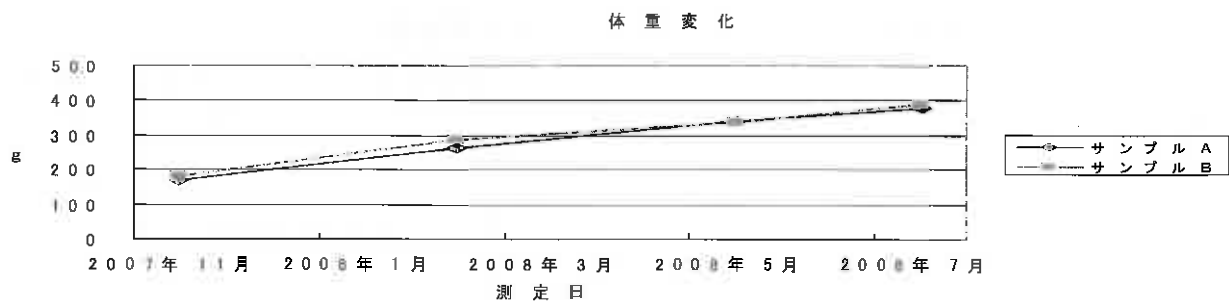
を実施した。1,315尾収容生け簀 平均体長256.9mm 平均体重341.9gであった。1,500尾収容生け簀平均体長251.5mm 平均体重337.2gであった。平成20年7月9（木）に4回目の測定を実施した。1,315尾収容生け簀 平均体長267.3mm 平均体重376.2gであった。1,500尾収容生け簀平均体長268.8mm 平均体重390.5gであった。今回の測定においても2生け簀の成長においては餌料の違いによる著しい成長差はみられず、ほぼ同じであった。今回の試験結果をみると、低価格餌料と普通価格餌料では、養殖魚の成長には著しい成長変化はみられなかった。

4 問題点

金武での養殖試験における問題点としては、沖縄電力沖縄プラント工業金武事務所沖合の養殖漁場が東風や南風が吹く場合に岸壁に打ち突けた返し波と次の波とで三角波が発生し、給餌を行うのに小型の漁船ではかなり危険を伴う作業となっている。このため、給餌作業が天候に左右される状況にある。また、沖合に出した生け簀を台風時期の5月～6月には港内に移設し、11月頃に沖合に出す作業が必要となり1日がかりの作業である。この平成20年度8月末をもって試験は終了となる。今後は、比較試験を継続し、課題である生け簀の移設作業や天候に左右される給餌作業について漁協と共に解決策を見出す必要がある。

体長変化





測定のため、網を揚げタマンを追い込み



生簀曳航



タマン測定中



沖合での生簀設置中



生け簀移設作業開始



生簀設置完了